

トウガラシ台木品種 ‘チャガマラン’ の育成

細美祐子*・山田美保江**・澤田博正***・岡田昌久*・松本満夫****

A New Rootstock Variety for Pepper, ‘Chagamaran’

Yuko Hosomi, Mihoe Yamada, Hiromasa Sawada, Masahisa Okada and Mitsuwo Matsumoto

要 約

青枯病および PP_0 型トバモウイルスに抵抗性をもつトウガラシ台木 F_1 品種 ‘チャガマラン’ を育成した。この品種の青枯病抵抗性は、ミャンマーで収集したトウガラシ遺伝資源「Myr29アント」の薬培養系統「Myr29H19-1」に由来し、トバモウイルス抵抗性 L^{Ja} 遺伝子はシントウガラシ(シントウ)固定系統「TMVR4-1」に由来する。

1. ‘チャガマラン’ は市販品種 ‘台助’ と同程度の青枯病抵抗性を示す。
2. トバモウイルス抵抗性 L^{Ja} 遺伝子をもつシントウ、ピーマンおよび小型パプリカ品種などが接木できる。
3. 生産力検定試験および現地試験において、穂木の収量性、生育、果実品質および青枯病抵抗性は実用レベルと示されたことから有望と判断され、2013年に品種登録申請をした。

キーワード：トウガラシ台木、青枯病抵抗性、トバモウイルス抵抗性、 F_1 品種